

2024年7月1日

関係者各位

一般財団法人 高円宮記念日韓交流基金
理事長 柳井 俊二

日韓青少年交流事業の推薦について（ご依頼）

拝 啓

皆様にはご健勝にてお過ごしのことと拝察致します。

当基金は、戦後皇族として初めて韓国を公式訪問され、2002年ワールドカップサッカーの日韓共催を始め、広く日本と韓国の国際交流にご尽力されました高円宮殿下を記念して、2008年12月1日に設立された一般財団法人です。

高円宮殿下は、「国と国との友好は人と人との交流にある」とのお考えのもと、ワールドカップ以降も日韓の様々なレベルでの交流にお心を砕かれましたが、惜しむらくは、2002年11月に薨去され、日韓交流促進の願いが志半ばとなったこととございます。当財団は高円宮殿下のご遺志を受けて、高円宮妃殿下のご指導の下に、日韓パートナーシップに基づく教育・文化・スポーツを中心とした青少年の草の根交流を支援すべく、「顕彰事業」を行っております。そして、この事業を通して未来志向的な日韓関係の構築・増進を図るべく活動しております。

新型コロナ感染拡大の為、2020年から3年間休止しておりましたが、昨年度再開し、本年度も引き続き「顕彰事業」を実施したいと存じます。我々は民間の草の根活動に焦点を当て、善意の交流事業を一つでも多く掘り起こし、その中から、今年も優れた草の根交流事業を顕彰したいと考えます。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、日韓交流に関する青少年の草の根活動を推進・支援されている個人またはグループ・団体におかれましては、別紙記載の推薦要領に沿って当該交流事業をご推薦頂ければ幸甚です。なお、当財団の概要と過去の顕彰事業等の実施状況は、当基金のホームページでご覧頂けます。

(<http://www.p.takamado-jke.jp> 又は「高円宮記念日韓交流基金」と入力)

皆様のお陰を持ちまして、当基金も今年16年目を迎えることが出来ました。今後とも日韓の友好親善のために更なる努力を重ねて参りたいと存じます。現在日韓情勢は好転しつつありますが、民間の力でそれを更に確実なものにしたいと願っております。そのためにも、活発なご推薦をお願いしたいと存じます。それでは交流事業の推薦方、どうぞよろしくお願い申し上げます。

敬 具

推 薦 要 領

1. ご推薦頂きたい対象

草の根レベルで、日韓青少年の教育・文化・スポーツ分野での交流に貢献し、成果をあげた個人またはグループ・団体。

*草の根交流のおおまかな定義：政府・企業等に属さない一般市民層（個人またはグループ・団体）による交流活動で、地域に根を下ろした地道な活動を指す。（NPO・NGO活動や、個人によるボランティア活動を含む。）

2. 対象となる具体的教育・文化・スポーツ活動の内容

教育：日韓学術交流、日本語・韓国語教育、日韓共同研究、その他

文化：美術、音楽、舞台芸術、伝統文化、その他

スポーツ：日韓にまたがるスポーツ交流、日韓独自競技の紹介・普及、その他

3. 活動の対象期間

顕彰の対象となるのは、前年度又は本年度まで継続的に実施されて具体的な成果のあったもので、望ましくは10年以上の長期に亘り実施されているもの。但し、コロナ禍では活動が制約されたこととしますので、直接交流に限らず、リモート交流などの間接交流も対象と致します。

4. 選考方法

当財団顕彰規程に基づき、各種団体から推薦された案件から、教育・文化・スポーツ分野より数件選抜し（2023年は3件受賞）、11月の選考委員会における審議を経て理事会で受賞案件を決定する。なお、選考委員会に上程する案件数は、事務局において適切な案件数まで事前にスクリーニングする場合がある。

5. 顕彰

顕彰の証として、当財団名誉総裁の高円宮妃殿下より「高円宮賞」を授与し、併せて副賞（金一封）を贈呈し、12月の顕彰式典で表彰する。

6. 推薦状：別紙推薦状に必要事項を記載の上、下記宛先に郵送いただく。

〒100-0006 東京都千代田区有楽町一丁目7番1号 有楽町電気ビル南館3階
一般財団法人 高円宮記念日韓交流基金 理事長 柳井俊二 宛

7. 期限：2024年8月30日（金）

8. 問い合わせ先

高円宮記念日韓交流基金 事務局 （事務局長：須々木智行）

Tel 03-6256-0581、Fax 03-3201-5055、E-mail susuki@p.takamado-jke.jp

ホームページ <http://www.p.takamado-jke.jp>

一般財団法人 高円宮記念日韓交流基金
理事長 柳井 俊二 殿

推 薦 状

推薦者	団体名	
	代表者名	
	連絡担当者	
推薦者の 連絡先	住所	〒
	Tel/Fax	
	E-mail	
活動内容	(団体の設立目的、今までの活動内容等)	

被推薦者 (交流事業をやっているところ)	個人又は 団体名	
	代表者名	
	連絡担当者	
被推薦者の 連絡先	住所	〒
	Tel/Fax	
	E-mail	
個人又は 団体の種類	(該当部分 に○)	<ul style="list-style-type: none"> ・個人 ・グループ ・NPO ・NGO ・財団法人 ・社団法人 ・その他法人 ・法人格のない団体
事業の名称	(一般呼称)	
継続年数	(対象事業)	
人数	(参加人数)	約 人／年 (累積約 人)
活動地域	(交流場所)	
日韓交流をしている 組織の概要	(団体又はグループ等の設立目的、役割、今までの活動内容等を簡単に記述)	
活動費	(他団体からの支援の有無等)	

推薦する交流事業の概要

1. 交流事業の名称

--

2. 交流事業の特色、交流事業実施の背景・経緯

--

3. 交流事業の内容（具体的に記述）

--

4. 交流事業の評価（推薦理由）

--

- * 1. 資料・写真等があれば添付願います。書ききれない場合は別紙を追加して記載願います。
- 2. 推薦案件が複数ある場合は本紙をコピーしてご使用ください。推薦状の様式はHPにも添付してあります。
- 3. 個人情報につきましては、当該目的以外には使用しないと同時に、情報管理には十分留意致します。